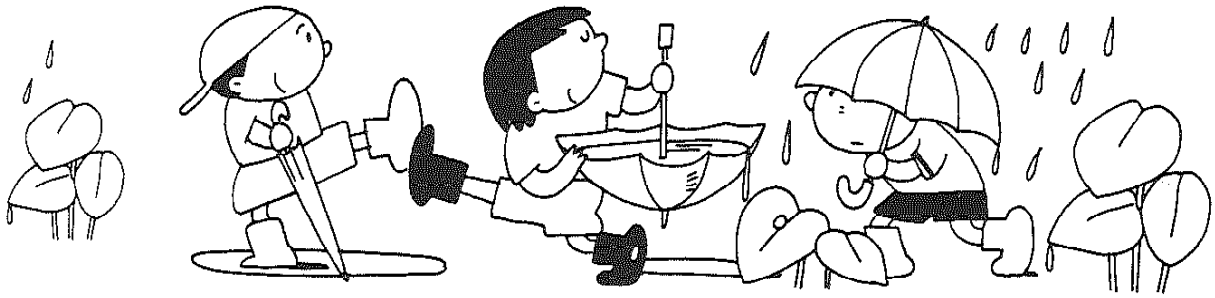
事務局ニュース11-NO.1 2011．6．10 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

県連協総会・研究集会へご参加、ありがとうございました
①「３．１１」を契機に安心・安全の学童保育づくりを進めよう！
②県からの委託事業=放課後いきいき応援隊を成功させましょう！



埼玉県学童保育連絡協議会（県連協）の定期総会（５月28日）と研究集会（29日）が盛況のうちに終わりました。総会には、上田知事（代理）、県議会議員、関係諸団体の方々が出席し、たくさんの祝電・メッセージが届きました（**※詳しい内容は後日、全世帯配布のニュースにてお知らせします**）。

３月11日の東日本大震災は、学童保育が、働く親とその子どもたちにとって無くてはならない施設であること、子どもたちを受け止め支える指導員こそが、学童保育の安心・安全の最大の保障であることを痛感させられました。同時に、行政がどのような役割を果たすべきかという課題も明らかになりました。総会では、震災を契機として学童保育の役割を改めて確認し、今後とも安全・安心の居場所としての役割を果たすことができるように、制度の確立・改善と保育内容づくり、保護者と指導員の運動の強化を図ること確認しました。

加盟クラブ・地域連絡協議会（学童保育の会）と共に、新年度の活動を進めていきます。

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．東日本大震災関連の動き・とりくみ

（１）厚生労働省が７～９月の開設時間延長、休日開設を促す通知を発出

厚生労働省の学童保育の担当課＝育成環境課は、５月19日付けで課長通知「夏期の電力需給対策に伴う企業の就業時間等の変更に対応した放課後児童クラブの実施について」を都道県・政令市・中核市宛てに発出しました（**※別紙１**）。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001cto2-att/2r9852000001e3q7.pdf

各クラブ・地域連絡協議会として保護者のニーズを把握し、どう対応していくかを話し合う必要があります。７月16日（土）の県連協代表委員会（※総会に次ぐ決議機関）でも話し合います。

（2）埼玉県　少子政策課として「自然災害対応マニュアル」を作成・公表

県の学童保育の担当課＝少子政策課は、４月28日に開催した「平成23年度児童健全育成事業担当者会議」において、「児童福祉施設向け　自然災害対応マニュアル」を公開し、併せて、学童保育においても自然災害の対応について対応マニュアルの作成を要請しました。

同マニュアルは、県連協作成の『埼玉の学童ほいく～2011年度資料集』に収めています。

（3）県連協　「震災を振り返り、学童保育の役割と自治体の責任を考える」年に

県連協では、総会議案書のなかで「東日本大震災を振り返り、改めて学童保育の役割と自治体の責任を考えましょう」と謳いました。翌29日の県連協主催「研究集会」でも特設分割なども設けました。

また、６月20日の「第26回指導員基礎講座」もこのことをテーマとして開催します（**※別紙レモン**）。

（4）全国学童保育連絡協議会（全国連協）として現地を視察、義援金を届けています

全国連協では、震災被害の大きい東北三県の情報を集めて「学童保育支援ニュース」しています（**※別紙２**）。また、５月23～27日、岩手県沿岸部の市町村と学童保育を訪問して、被害状況をつかみ、どういう支援が必要かの調査に入りました。

埼玉からも現地の復興に向けて、義援金を引き続き集めて下さい。また、草加市と坂戸市の学童保育からは千羽鶴が現地に届けられています。様々な形で、息の長い支援を続けていきましょう。

○　東日本大震災　学童保育義援金の振込先　○

銀行コード：0005　店番：351　**三菱東京UFJ銀行 本郷支店　普通預金　0012273**

全国学童保育連絡協議会 代表 木田保男

２．埼玉県の動き

（1）「障害児担当指導員研修会」が開催されます

埼玉県は2008年度から、「障害児対応を行う指導員の研修の機会を確保」する趣旨から標記研修会を開催しています。2009年度から、県連協と共催で開催しています。

□7月14日（木）　於行田商工センター／7月15日（金）　於県民健康センター／各10:00～12:00

□講義内容　「発達障害のある子の理解と支援のあり方～「気になる子、指導の難しい子」の支援の実際を考える」

【講師】渡部庄一氏（埼玉県教育局 特別支援教育課 発達障害支援担当・発達支援専門員）

（2）「第１回学校・家庭・地域連携推進委員会」開催　５月18日（水）　於知事公館

「学校応援団推進事業」「放課後子ども教室推進事業」「埼玉の子ども70万人体験活動」をどう進めていくかについて県教育局から提案がありました。県連協から薄井会長が出席。

（3）「防犯のまちづくり推進会議総会」開催　６月７日（火）　於埼玉県県民健康センター

県は、「犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行う防犯のまちづくり」を進める趣旨から標記会議（会長＝県知事）を設けています。138団体の１つに県連協が名を連ねています。

２．　国の動き

（１）「子ども・子育て新システム・第11回基本制度ＷＴ」開催　5月18日

この日のテーマは、「これまでの検討の概要」と「幼保一体化ワーキングチームの検討状況」と「質の改善について」。事務局の資料には以下のようにあります。

「質改善の具体的な方策について」では、学童保育については「小一の壁の解消」として、「潜在的需要の解消のため…供給量を確保」「開所時間（19:00以降）の延長」があげられ、「具体的方策」では、「職員体制の見直し」として「常勤職員の導入」を検討するとしています。

保育所については、保育制度の解体となる「個人給付」型とすること、市町村の実施義務をなくすこと、幼保一体化によりすべての施設を「こども園」と名乗れるようにするなど、公的保育制度解体の方向が着々と進められようとしています。

（２）厚生労働省　震災で中断していた「タイムスタディー調査」を再開

昨年12月28日の基本制度ワーキングチームが「指導員の常勤配置も考えられる」と提言したことを受けて、厚生労働省として、実際に指導員がどのような仕事をしているのかを調べるために、「１日タイムスタディー調査」（丸一日、調査員が分刻みで仕事を調べる）を3月からスタートしていましたが、震災で作業が中断していました。

６月８日に飯能市あおぞらクラブにおいて実施されました。

３．　県連協の運動・とりくみ・行事

（１）第39回県連協総会が開催されました　5月28日（土）　於埼玉教育会館

29市町146人の出席がありました。詳細は追って全世帯ニュースでお知らせします。

※総会の当日資料を各クラブ１部添付しました。

（２）第39回研究集会が開催されました　5月29日（日）　於上尾市文化センター

43市町から694人（10年＝43市町村837人、09年＝50市町866人、08年＝686人）の参加がありました。全体会は、「学びの場・生きる場の編み直し」と題して岩川直樹氏（埼玉大学教育学部教授）が記念講演しました。午後は18分科会を開催しました。

４．　全国学童保育連絡協議会等の動き

（１）第39回全国合宿研究会を開催　5月14日（土）～15日（日）　於石川県

今回のテーマは、「私たちが求める学童保育の設置・運営基準」の改定。埼玉から6人が参加。

（２）全国運営委員会を開催　5月15日（日）　於石川県

【議題】①東日本大震災・福島原発事故の被害と支援について　②国や自治体の動向と運動の課題等について討議・交流を行いました。

県連協からお知らせ・お願い　(^0^)

（1）「放課後いきいき応援隊」事業を成功させましょう

1．「放課後いきいき応援隊」とは

昨年度から県の事業として「放課後いきいき応援隊」がスタートしました。この事業は、地域のシニアの方に学童保育で昔遊びや読み聞かせ、宿題の見守り、おやつの手伝い等のボランティア活動を行っていただくものです。本年度は、県連協が県から委託を受けて実施することになりました。

2．すべてのクラブから申し込みを！　地域連協（学童保育の会）としてもとりくみをお願いします

夏休みからのスタートを考えています。**別添ダークイエローチラシ「放課後いきいき応援隊をお申し込み下さい**」を県連協まで送って下さい。クラブ名、住所、電話番号のみの記載でもけっこうです。

地域連協（学童保育の会）としても、すべてのクラブからの申し込みを進めるようお願いします。

3．ご近所のシニアさん、おじいちゃん・おばあちゃんに「応援隊員」になってもらって下さい。

「応援隊」の資格は、子どもたちと遊びたいという気持ちだけあれば、どなたでもけっこうです。

別添ライトブルーチラシ「放課後いきいき応援隊に参加して下さい」を県連協まで送って下さい。

氏名・住所・電話番号・クラブ名のみの記載でもけっこうです。

（2）第１回県連協代表委員会へご出席を

□7月16日（土）18:00開場　18:15開会

□浦和コミュニティセンター

【交流】①地域の動き、行政との関わりで特徴的な動き　2011年度予算、大規模の分割・新設等

【議題・交流】①県連協2011年度方針の重点の紹介と討議　②この夏の企業の就業日・時変更に伴う学童保育としての対応　③放課後いきいき応援隊のとりくみ　④2012年全国研・埼玉開催に向けて実行委員会準備会のスタート　⑤その他

（3）第36回全国指導員学校・北関東会場を開催します

６月26日（日）　於東洋大学板倉キャンパス

（4）『埼玉の学童ほいく～2011年度資料集』500円をご活用下さい！

毎年、発行している県内の学童保育のデータ・資料集です。

今年度は特に、①県内の学童保育の詳細な実態調査とその分析　②県施策・補助の詳細　③県作成「自然災害対応マニュアル」　④県連協「第3弾大規模追跡調査」　⑤指定管理者制度・総務省通知等、貴重な資料が満載です。学童保育の役員は必携、各学童保育に１冊は常備しましょう。

※ＦＡＸないしＥメールにてお申し込み下さい。